

(早稲田大学政治経済学部政治学科卒、
英ウォーリック大学大学院国際政治経済学修士/
読売新聞東京本社・調査研究本部主任研究員)

1979年3月 卒業

何でもやってみる

渡辺 覚 (高校31期)

今、立高生である「あなた」の夢は何でしょう？

東大に入る？ 医学部に進む？

一流企業に就職する？

金持ちになる？

憧れの人とゴールインする？

——すべてOKです。本稿で皆さんに伝えたいメッセージとは、「大概のことはできます」。

強い自信を持って、それを皆さんに実感してほしいと思うのです。

■立高時代

好きなことだけをした3年間でした。山岳部に入り、毎週のように山に登りました。

案外多くの皆さんと共通すると思いますが、中学では運動が苦手でした。そのため体を動かす部活に挑戦したいという思いが強くありました。

そして、これは大正解でした。体力の基礎を作り、生涯の友を得られました。付言すると、大学の体育会系サークルで活動するのは意外に難しいものです。ぜひ今、スポーツに目覚めてほしいと思います。

文化祭実行委員会やクラス委員（当時は、ホームルーム長と呼んでいました）の仕事にも夢中で取り組みました。演劇コンクールやクラス展示、合唱祭の準備で夜遅くまで学校に居残ったことも良い思い出です。映画やマンガ、小説も好きで、乱読を重ねました。学校をさぼって映画館に入り浸り、館内で母の弁当を食べたことも何度となくありました。

すると、成績は低迷します。

高2の1学期にクラスの下位30%である事実を担任に告げられ、危機感から懸命に勉強しました。

幸い、高2秋に行われた実力テストでは学年の上位に入ることができ、以降、自分なりに高い目標を掲げて東大を目指しましたが、2度失敗。結局、早稲田大学へ入学しました（冒頭に書いた通り、夢の成成は「100%」ではなく、「大概」です）。

無念は残りましたが、今になって悔いは全くありません。

■大学時代

大学・学部の選択は、人生を左右します。真剣に悩んでください。私は当初、理系学部を検討しました。その際、①社会の発展には、理系のがんばりが必要だ

②ただ、理系で社会の発展に直接貢献できる人は限られる（←若さゆえの誤認あり）

③文系なら法学部で法曹界を目指すのが本筋だ

④でも、法解釈や個々の訴訟に拘泥される日々に満足できそうにない（←同上）

⑤ならば、より広くかつ客観的に社会へ関与できるマスメディアで記者になろう
 ——と考えました。受験校を東大と早慶に定めたのは、こうした理由からです。

上記の結論に至るまで、進路決定に関する本や小説を繰り返し読みました。『社会のために生きる』『国際社会に生きる』など書名も忘れられません。今ならさしずめ、村上龍の『13歳のハローワーク』でしよう。家族と何度も話をしたことを思い出します。自分でとことん考え、本を読み込み、家族と話し合う——進路決定の王道だと確信します。

さて、早稲田大学です。ご案内の通りのマンモス大学で、(今とは異なり)知的刺激に満ちた授業は多いとは言えませんでした。点訳サークルと障害児保育の学生団体に所属してボランティア活動に精を出し、あとはひたすら友と語り、飲み、本を読む生活でした。最終学年では、マスコミ就職のために歯を食いしばって文章修行に取り組みました。

■現在の仕事

テレビ各社と主要新聞社を受験し、テレビは全滅しましたが、複数の新聞社から内定を得て、読売に入社しました(再び、希望の成就是「大概」の原則です)。

5年間の地方勤務は、札幌にある北海道支社の編集部と函館支局で警察・市政担当。東京本社に戻ってからは、編集局の経済部に配属され、農水省、日銀、電機・造船重機・自動車メーカーなどを年代わりで担当しました。

縁あって社内の海外派遣留学生に選ばれ、記者人生にも転機が訪れます。英国の大学院で2年間学びました。

早稲田時代と異なり、この時ばかりは必死に勉強しました。世界の政治や経済を研究対象にするおもしろさは、留学中に体感しました。

30歳を過ぎての海外留学です。留学に「遅い」ということは、決してありません。

帰国後は、経済部から国際部に移り、欧州総局ロンドン支局とジュネーブ支局で特派員を務めました。

現在は、東京本社の調査研究本部で、自分の専門分野(国際政治・経済・医療・ジェンダー)等の勉強を続けながら記事を書く一方、国際シンポジウムやVIPによる国際経済講演会の企画・進行を任されています。2015年に開催した国際経済講演会でお招きしたゲストは、安

多シモタンカが難民キ
 マンに助けられた教室
 で、毎日勉強を続ける少
 女たち 渡辺智影

読売新聞

10月26日 2001年(平成13)年

THE YOMIURI SHIMBUN

第45101号 (F)の読売新聞が2001年

発行所
 読売新聞社
 東京都千代田区永田町1-3-1
 郵便番号100-8001
 電話03)3242-2111



アフガン難民の少女たち



勉強できて幸せ

【ビュッジェンタジキスとセマッってれば、読書も一ルで勉強した。この冊子(南部)で「勉強力」をきも学べなかった女児たちをみんなを回し眺めていたアフガニスタンの近頃タジキスタンの国境地帯で暮らすアフガン難民の少女たち。オアフカン難民の少女たち。だ、ビュンシ川の中央の降ります……。七歳から十一歳の少女二人が、なぐさるのほや。年長姉が勉強を勧める。女一齊に手をさそって文章をのバリアル・クルボッチ

「時間延長」実施も初の4割

【ビュッジェンタジキスとセマッってれば、読書も一ルで勉強した。この冊子(南部)で「勉強力」をきも学べなかった女児たちをみんなを回し眺めていたアフガニスタンの近頃タジキスタンの国境地帯で暮らすアフガン難民の少女たち。オアフカン難民の少女たち。だ、ビュンシ川の中央の降ります……。七歳から十一歳の少女二人が、なぐさるのほや。年長姉が勉強を勧める。女一齊に手をさそって文章をのバリアル・クルボッチ

女子教育禁止のタリバン支配から逃れ

【ビュッジェンタジキスとセマッってれば、読書も一ルで勉強した。この冊子(南部)で「勉強力」をきも学べなかった女児たちをみんなを回し眺めていたアフガニスタンの近頃タジキスタンの国境地帯で暮らすアフガン難民の少女たち。オアフカン難民の少女たち。だ、ビュンシ川の中央の降ります……。七歳から十一歳の少女二人が、なぐさるのほや。年長姉が勉強を勧める。女一齊に手をさそって文章をのバリアル・クルボッチ

倍晋三首相を筆頭に、経団連の榊原定征会長や日本銀行の黒田東彦総裁ほかの方々です。

講演会での発言が、そのままホットなニュースになる政官財界のVIPに直接コンタクトを取って話をしてもらい、自社のみならず国内外のメディアにも広く案内を出し、ニュースを世界に発信するのが今の仕事の醍醐味です。

(余談ですが、2014年5月には自民党の高村正彦副総裁を招き、集团的自衛権の確立に向けた与党協議について話してもらいました。ご存知の通り、高村さんは本校の大先輩です。私が「後輩」であることを小声で伝えると、高村さんは「ふふ、立高？」と言いながら、実にうれしそうな顔を見せてくれました。これもまた、記者の仕事を通じたご縁です)

■立高生のあなたへ

皆さんは、次のようなゲーテの名言を聞いたことがありますか？

「人生はすべて、次の二つのことから成り立っている。

『したいけどできない』『できるけどしたくない』

この名言に対して、皆さんが抱かれる率直な感想はどのようなものでしょうか？

立高を卒業して30年超。私自身は今、文豪本人にノーと言いたい気持ちで一杯です。

レトリックの秀逸さゆえにゲーテの名言は後世に語り継がれているわけですが、大勢の人にとって、よりリアルな「真実」とは……

①やりたいことを、やる

②したくないことも、やる

——これに尽きるのではないのでしょうか。

要は、何でもやってみる。

それが、チャンスを広げ、人生を豊かにするカギなのです。

そして、少しだけ大きさに言うと、そうした幅広い事柄・ジャンル・世界に思いのまま挑戦できるということは、フツの高校生でないはずの「あなたたち」立高生に許された特権なのです。

9・11米同時テロの際、私はロンドン特派員でした。

米英軍によるアフガニスタン・タリバン政権への攻撃が始まった直後、私はタジキスタンからアフガン入りし、延べ約2か月間、現地の様子をレポートする経験を得ました。

そこで忘れられないのが、国境地帯で会った難民の少女たちです。

ボロボロながら、生まれて初めて教科書を手にした彼女たちの喜びの姿です。

学びの場、それも最高に近い先生方と友人に囲まれ、恵まれた環境で「読み・書き」にいそしめる皆さん、勉強しない手はありません。

何の勉強でも構いません。

大事なことは、「何でもやってみる」という思い。自分の人生に具体的な目標を作り、自分の手で人生を切り開いてみてください。

もう一度言いましょう。大概のことはできます。やってみることです。

皆さん一人一人の活躍を信じています。